

県北地域感染症ニュースレター

令和6年度 第1号

海外での感染症にご注意を！

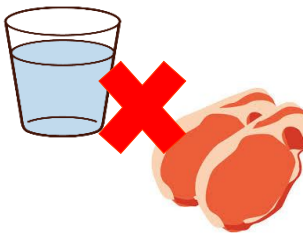
ゴールデンウィークなどの長期休暇中に海外旅行へ行く方もいらっしゃるかと思います。海外では日本にはない感染症や日本ではかかりにくい感染症が多くみられています。海外で感染症にかからないために、感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。

感染対策をしっかりとしましょう

～感染経路と予防方法～

食べ物や水から…

A型・E型肝炎
赤痢
腸チフス
コレラ 等



・生水・氷・カットフルーツ・生肉・生魚・生野菜等を食べることを避けましょう。
・綺麗な水でこまめに手洗いをしましょう。

蚊から…

マラリア
デング熱
ウエストナイル熱
日本脳炎 等



・長袖・長ズボンを着用し皮膚の露出を避けましょう。
・虫除け剤を使用しましょう。

動物から…

狂犬病
鳥インフルエンザ 等



・動物に近寄ったり、触ったりしないようにしましょう。

人から…

麻疹・風疹
新型コロナウイルス感染症 等



・咳や発熱、発疹などの症状がある方との濃厚な接触は避けましょう。



予防接種により感染症にかかるリスクを下げることができます！
渡航先や渡航時期、活動内容に応じて予防接種を受けることをお勧めします！

帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら…

帰国時

空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の方を対象に健康相談を行っています。

帰国時に発熱や咳、下痢などがある方や動物に咬まれた、蚊に刺されたなど心配なことがありましたら、検疫所へご相談ください。

帰宅後

感染症には、潜伏期間(感染してから発症するまでの期間)が数日から1週間以上と長いものもあり、帰国後しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。

その際は、早急に医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での職歴や活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。

海外の感染症情報をチェックしよう

厚生労働省検疫所「海外で健康に過ごすために(FORTH)」のホームページには海外の感染症の流行状況や、予防方法などの情報が掲載されています。



旅行前に必ず FORTH を
チェックしましょう！

 県北管内で **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** が小流行しています。

〈症状〉

突然の発熱、全身倦怠感、咽頭発赤

発熱は 3～5 日以内に下がり、一週間以内に症状改善

全身に皮疹が広がる猩紅熱に発展する場合もある



〈予防方法〉

感染経路は飛沫感染と接触感染

手洗い・うがい・咳エチケットの基本的な感染対策が重要

症状があれば早めに医療機関を受診しましょう！



発行日:令和 6 年 4 月 19 日

発行元:福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ:検索キーワード

県北保健所